



PIP(パイプ・イン・パイプ)工法

JFE PIP工法の特長

1 通水断面の確保

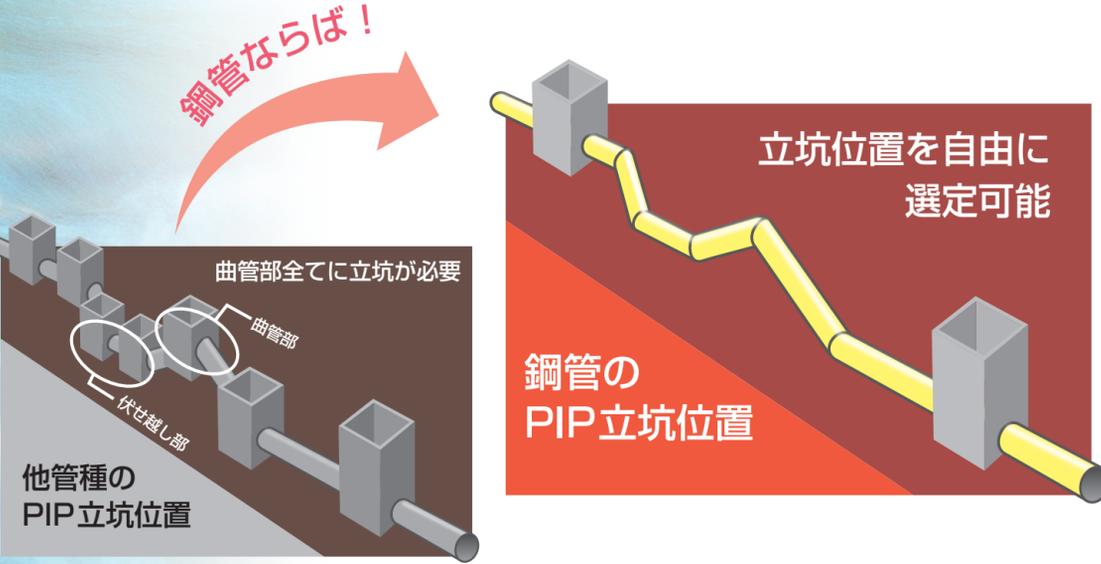
鋼管によるPIP工法では、他管種に比べ、既設管に最も近い口径を確保できます(巻込鋼管の採用で40mmダウンでの施工が可能)。

2 耐震化への対応

PIP工法では、既設管の残存強度に期待せず、新設鋼管のみを考慮した構造設計を行います。新設の鋼管は、鋼の優れた材料特性を有し、溶接による一体構造管路となるため、抜群の耐震性を有する耐震管路として生まれ変わります。

3 立坑位置の選定が自由

鋼管は、あらゆる曲がりに対して、対応できるため、立坑位置を自由に選定できます。



4 立坑部からの更新

一般の開削工法と異なり、立坑部からの更新工事であるため、住宅地や交通量の多い市街地においても更新工事が行えます。また、建設廃棄物の発生を抑制した環境に優しい工法と言えます。

5 製作から据付までワンストップによる対応

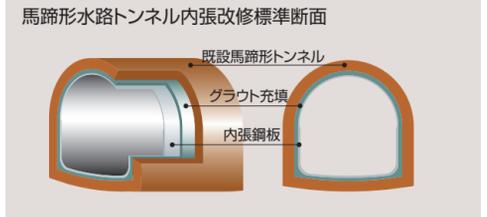
JFEエンジニアリングは鋼板の製造から、水道用鋼管の製作・現地での据付までの全ての工程をグループ内で一貫して行うことにより、高品質の製品をご提供します。

JFEの鋼板内張工法(馬蹄形/矩形水路トンネル)

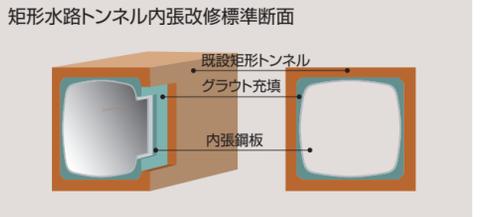
老朽化した水路トンネルをリニューアル

- 通水断面の確保
- 耐震性に優れた構造
- 傾斜及び曲がり部にも対応

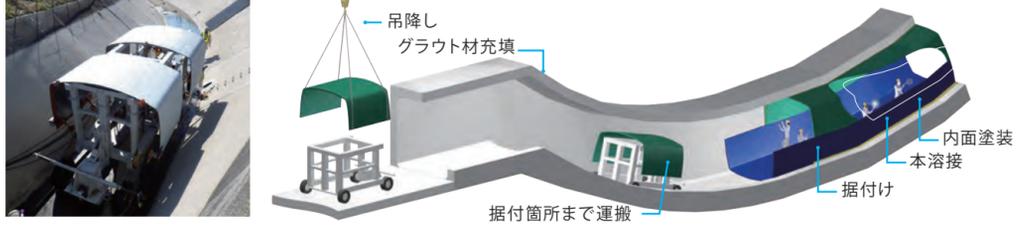
馬蹄形水路トンネル内張改修工法



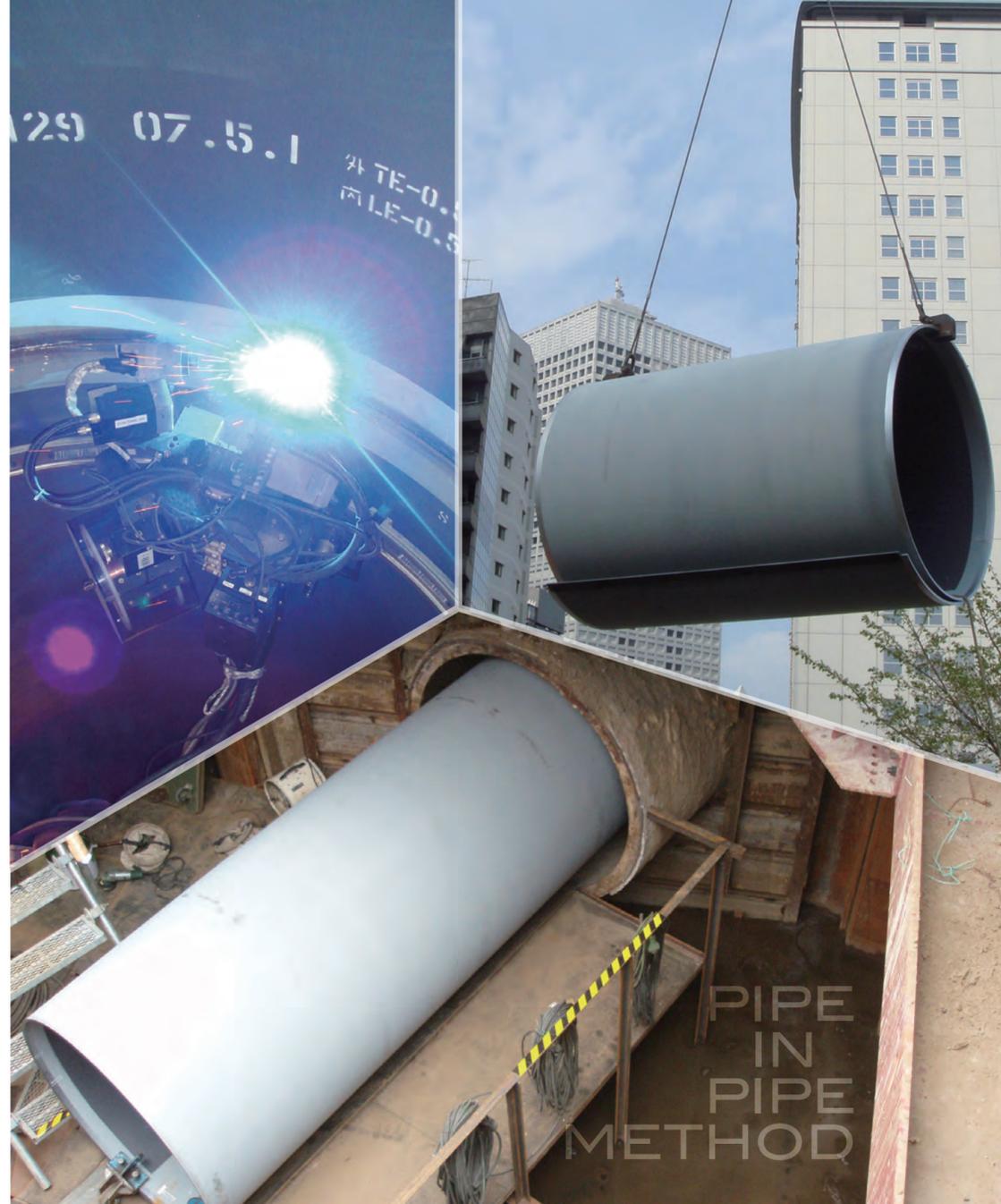
矩形水路トンネル内張改修工法



鋼板内張工法イメージ



JFE エンジニアリング 株式会社
<https://www.jfe-eng.co.jp>



PIPE IN PIPE METHOD

耐震化と老朽化対策という水道の基盤の強化にパイプ・イン・パイプ(PIP)工法 トップシェアのJFEエンジニアリングが お手伝いします。

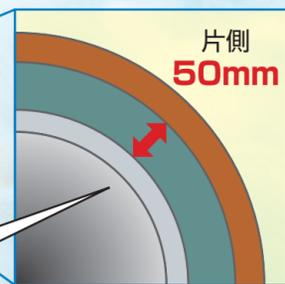
PIPの構造

普通鋼管によるPIP工法



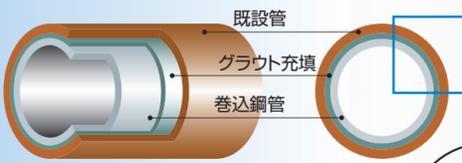
老朽化した既設管内へ普通鋼管を挿入し、更新します。旧管内径の1ランク(100mm)下のサイズで施工できます。

新設管外径=既設管内径より100mmダウン



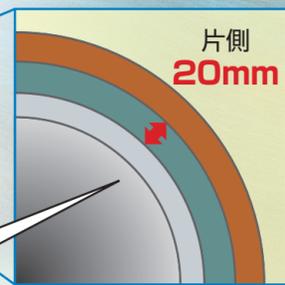
片側50mm

巻込鋼管によるPIP工法



老朽化した既設管内へ巻込鋼管を挿入し、既設管内で拡管し、新しい管路を作ります。旧管内径の40mm落ちサイズで施工できます。(最小口径800mm)

新設管外径=既設管内径より40mmダウン

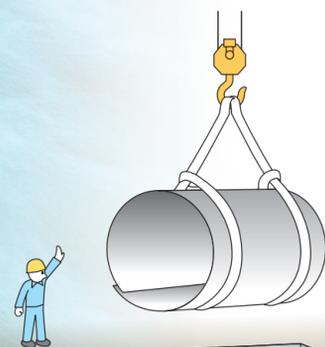


片側20mm

PIP施工手順 START



▽ PIP工法イメージ



どんな線形にも対応可能！！

